

### 経済経営学科の教育目的

- ・ 現代経済社会を理解するうえで必要な経済法則の知識を獲得し、かつ理解すること。
- ・ 経済・経営学に固有の分析手法により、現代経済社会を把握する専門的能力を身につけること。
- ・ 経済・経営学の基礎理論と幅広い教養、豊かな現実感覚と国際性を身につけること。
- ・ 複雑化し多様化する現代経済社会が直面する諸問題に的確に対処し、それらの解決に取り組む能力を身につけること。
- ・ 多様な職業背景や実生活に適用可能な、経済・経営学の考え方を理解し、専門職にふさわしい能力を有する人材を育成すること。

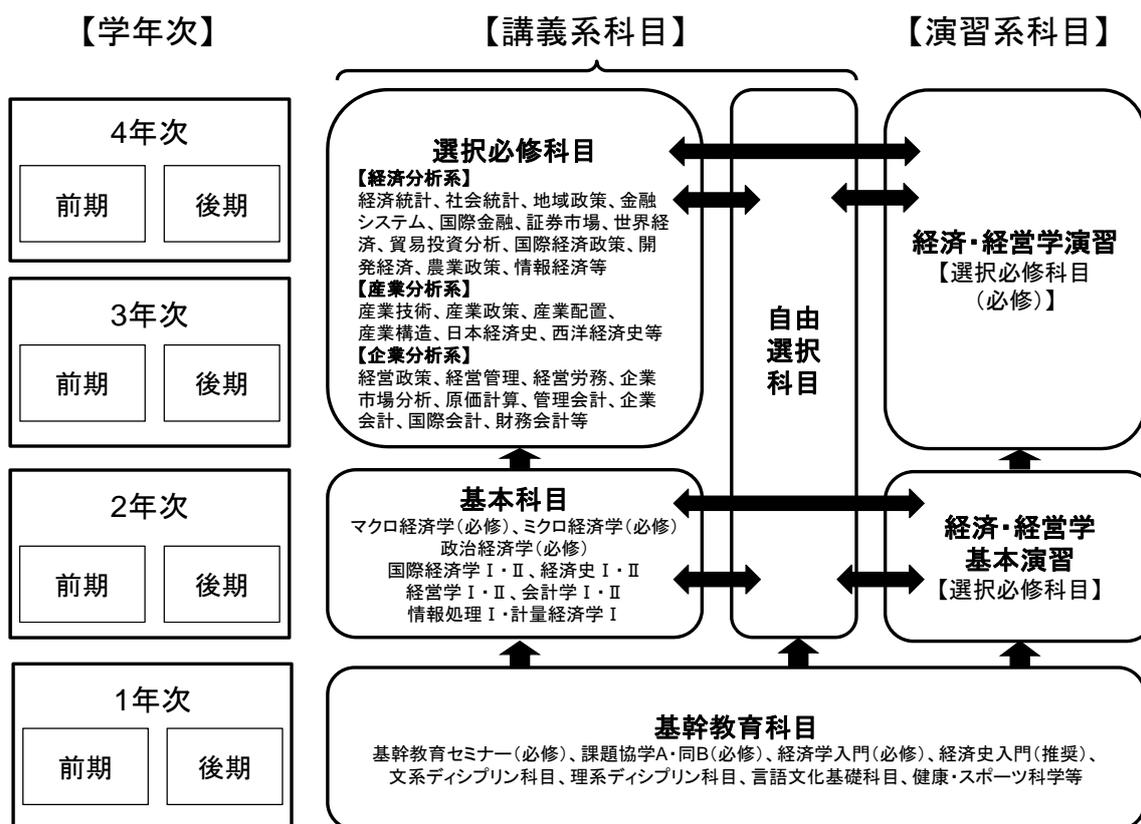
### 経済・経営学科のカリキュラムについて

#### (1) 経済・経営学科のカリキュラム構成

経済・経営学科は、体系的に経済学・経営学を学ぶことができるカリキュラムを講義系科目として提供するとともに、1年から4年までのすべての学年に少人数の演習系科目を配置することによって、きめ細かな学習サポートも併せて行っています。

1年次においては、全員が基幹教育科目の経済学入門を履修しながら、基幹教育セミナーに参加し、大学での学び方に触れます。2年次においては、経済学・経営学の基礎を学ぶ上で重要な科目を基本科目として履修します。なお、外国書講読などは2年次から履修できます。2年次には経済・経営学基本演習で基礎固めをした上で、自主的学習の習慣化により専門教育への円滑な移行を促します。そして3年次から4年次にかけては全員が経済・経営学演習に参加しながら、各人の興味関心にもとづいて選択必修科目および自由選択科目の履修を進めます。

(2) 経済・経営学科のカリキュラムマップ



(3) 経済・経営学科の学年ごとの達成目標と対応授業科目表

※   内は専攻教育科目およびそれに準じる科目

		達成目標	対応授業科目
1年	前期	<p>(B-2 汎用的能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済・経営学の基礎理論と幅広い教養、豊かな現実感覚と国際性を身につける。</li> <li>・経済を理解するために必要な経済学の基礎的な概念と分析手法の基礎を習得する。</li> </ul> <p>(C 態度・志向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文系と理系といった既成の枠にとらわれない幅広い分野に関する基礎知識を習得する。</li> <li>・アクティブ・ラーナーとしての自立的な学習を志向するための基礎を身につける。</li> </ul>	<p>【基幹教育科目】理系ディシプリン科目(微分積分学、線形代数 [必修])</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文系ディシプリン科目(経済学入門 [必修]、経済史入門 [推奨])</span></p> <p>【基幹教育科目】文系ディシプリン科目、理系ディシプリン科目、言語文化科目他</p> <p>【基幹教育科目】基幹教育セミナー [必修]、課題協学科目 [必修]</p>
	後期	<p>(A 知識・理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な経済諸問題を科学的に理解し説明できるための経済学の基礎力を身につける</li> <li>・経済を理解するために必要な経済学の基礎的な概念と分析手法の基礎を習得する。</li> </ul> <p>(C 態度・志向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文系と理系といった既成の枠にとらわれない幅広い分野に関する基礎知識を習得する。</li> <li>・アクティブ・ラーナーとしての自立的な学習を志向するための基礎を身につける。</li> </ul>	<p>【基幹教育科目】理系ディシプリン科目(微分積分学、線形代数 [必修])</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文系ディシプリン科目(経済学入門 [必修]、経済史入門 [推奨])</span></p> <p>【基幹教育科目】文系ディシプリン科目、理系ディシプリン科目、言語文化科目他</p> <p>【基幹教育科目】課題協学科目 [必修]</p>

2年	前期	<p><b>(A 知識・理解)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な経済諸問題を科学的に理解し説明できるための経済学の基礎力を身につける</li> </ul> <p><b>(B-2 汎用的能力)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大量の情報を管理・処理するためのコンピュータの基礎と応用の能力を身につける</li> </ul> <p><b>(B-1 専門的能力)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国語で書かれた経済書の内容を理解できる。</li> </ul> <p><b>(C 態度・志向性)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文系と理系といった既成の枠にとらわれない幅広い分野に関する基礎知識を習得する。</li> </ul> <p><b>(C 態度・志向性)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブ・ラーナーとしての自立的な学習態度、コミュニケーション能力を身につける。</li> </ul>	<p><b>【基本科目】</b></p> <p>[必修] ミクロ経済学、マクロ経済学</p> <p>[選択必修] 情報処理Ⅰ、会計学Ⅰ、計量経済学Ⅰ</p> <p><b>【選択必修科目】</b></p> <p>外国書講読</p> <p><b>【選択必修科目】</b></p> <p>経済・経営学基本演習</p> <p><b>【基幹教育科目】</b></p> <p>高年次基幹教育科目、言語文化科目他</p>
	後期	<p><b>(A 知識・理解)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済理論・経済史・経営学などの視点から、多様な経済諸問題を科学的に理解し説明できる。</li> <li>現実の経済システム、経済動向を把握・評価し、多方面からの分析を行うことができる。</li> </ul> <p><b>(B-1 専門的能力)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代経済社会の問題を、経済・経営学の視点から分析できる。</li> <li>現代経済社会が抱える問題を理論的・構造的視点から把握することができる。</li> <li>外国語で書かれた経済書の内容を理解できる。</li> </ul> <p><b>(C 態度・志向性)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブ・ラーナーとしての自立的な学習態度、コミュニケーション能力を身につける。</li> </ul>	<p><b>【基本科目】</b></p> <p>[必修] 政治経済学</p> <p>[選択必修] 会計学Ⅱ、国際経済学Ⅰ・Ⅱ、経済史Ⅰ・Ⅱ、経営学Ⅰ・Ⅱ</p> <p><b>【選択必修科目】</b></p> <p>外国書講読</p> <p><b>【選択必修科目】</b></p> <p>経済・経営学基本演習</p> <p><b>【基幹教育科目】</b></p> <p>高年次基幹教育科目、言語文化科目他</p>

3年	前期	(B-1 専門的能力) <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代経済社会の問題を分析し、問題解決の企画に取り組むことができる。</li> <li>・産業の消長を歴史的・実証的に分析することができる。</li> <li>・産業の将来動向を予測し、望ましい経済社会のための産業政策の企画に取り組むことができる。</li> </ul>	<p><b>【選択必修科目】</b></p> <p><b>【経済分析系】</b>          経済統計、社会統計、地域政策、金融システム、国際金融、証券市場、世界経済、貿易投資分析、国際経済政策、開発経済、農業政策、情報経済 等</p> <p><b>【産業分析系】</b>          産業技術、産業政策、産業配置、産業構造、日本経済史、西洋経済史 等</p> <p><b>【企業分析系】</b>          経営政策、経営管理、経営労務、企業市場分析、原価計算、管理会計、企業会計、国際会計、財務会計等</p> <p>経済・経営学演習[必修]</p> <p><b>【自由選択科目】</b>          経済工学科等授業科目          外国書講読</p> <p><b>【基幹教育科目】</b>          高年次基幹教育科目、言語文化科目他</p>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全な企業活動が営まれるための知識を修得し、それを阻害する問題がある場合には、経営学的・会計学的能力を駆使して、これに対処できる。</li> <li>・外国語で書かれた経済書の内容を理解できる。</li> </ul> <p>(B-2 汎用的能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑化し多様化する現代経済社会が直面する諸問題に的確に対処し、その解決策を見出す能力を養う。</li> </ul>	
4年	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代経済社会が抱える問題を歴史的・構造的視点から分析する能力、および、問題を発見し解決する能力を養う。</li> <li>・地域に根づく企業活動の国際的展開に対応しうる企画・創造力を養う。</li> </ul>	
	後期	(C 態度・志向性) <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界的な視野と自立的な学習及び実践力を有し、幅広い教養と高い専門性を備える。</li> <li>・アクティブ・ラーナーとしての自立的な学習と実践の能力、コミュニケーション能力を身につける。</li> <li>・幅広い分野において、国際的に活躍するとともに、自身が属するコミュニティの発展に貢献できるポテンシャルを持つ。</li> </ul>	

## 経済工学科の教育目的

- ・数学理論、統計学、情報科学などの知識にもとづく数理・数量的手法を用いて、現代における複雑で多様化した経済の動きを理解し、説明する能力を身につけること。
- ・現代の経済社会に対する現実感覚をもとに解決すべき政策的課題を発見するとともに、数理・数量的手法をはじめとする工学的手法によって、経済への働きかけとしての政策がもつ意味を多面的に分析して政策の提言を行う能力を身につけること。
- ・大量の情報を管理し処理するための数学およびコンピュータの基礎的な能力と応用力を身につけること。
- ・文系、理系双方の基礎知識を習得し、文理の枠にとらわれない幅広い分野において国際的に活躍することができる人材を育成すること。
- ・アクティブ・ラーナーとして自立的な学習及び実践力を有し、幅広い教養と高い専門性を備える人材を育成すること。

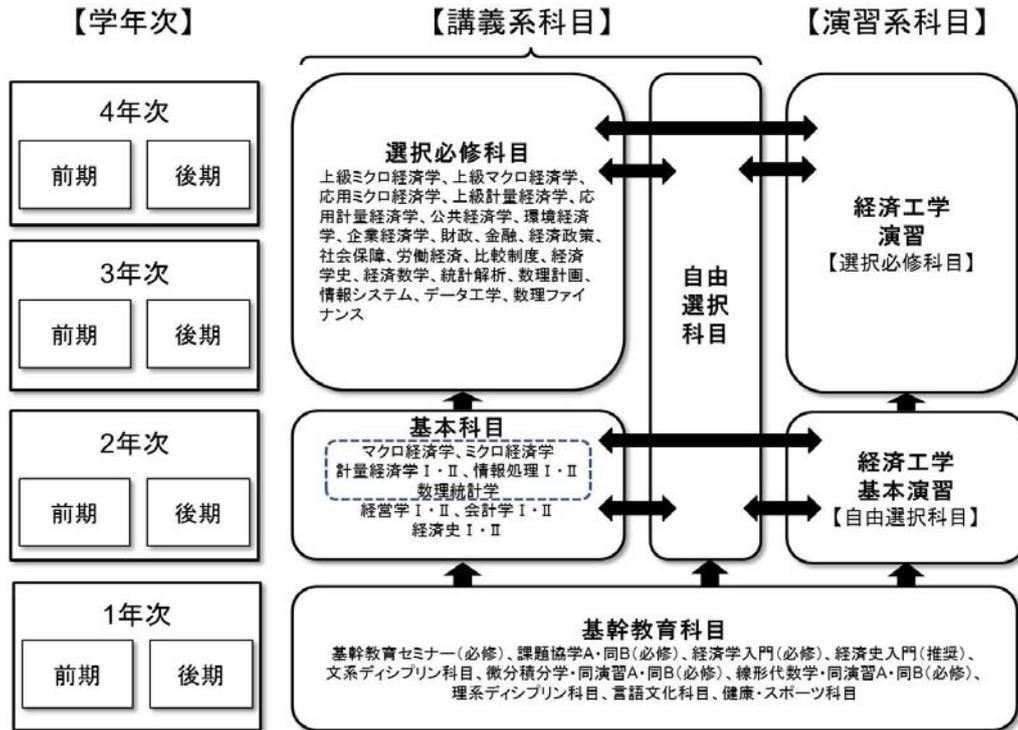
## 経済工学科のカリキュラムについて

### (1) 経済工学科のカリキュラム構成

経済工学科では、理論と分析ツール、およびその応用を一体的に学び、経済を総合的に捉えていく能力の修得を目指すための体系的なカリキュラムを提供しています。またそれと並行して、2年から4年までの各学年次に少人数のセミナーを配して、きめ細かな学習支援を行っています。

1年次前期においては、全員が必修科目として経済学入門を履修し、ミクロ経済学・マクロ経済学・国際経済学の基礎を学びます。2年次においては、基本科目を履修します。特に経済工学科では、この基本科目において理論、計量、数理・情報の3分野から6から7科目を必ず履修しなければなりません。なお、外国書講読など一部の自由選択科目については2年次から履修できます。経済工学基本演習に参加し、3年次以降の演習に無理なく進めるような学習の定着を促します。そして、3年次から4年次にかけては、全員が経済工学演習に参加しながら、各自の興味と関心に基づいて、選択必修科目と自由選択科目の履修を行います。

(2) 経済工学科のカリキュラムマップ



(3) 経済工学科の学年ごとの達成目標と対応授業科目表

		□ は専攻教育科目	
		達成目標	対応授業科目
1年	前期	<p>(B-2 汎用的能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済・経営分析のための数理・基礎に関する知識を身につける。</li> <li>・経済を理解するために必要な経済学の基礎的な概念と分析手法の基礎を習得する。</li> </ul> <p>(C 態度・志向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文系と理系といった既成の枠にとらわれない幅広い分野に関する基礎知識を習得する。</li> <li>・アクティブ・ラーナーとしての自立的な学習を志向するための基礎を身につける。</li> </ul>	<p>【基幹教育科目】基幹教育セミナー(必修)、課題教学A(必修)、微分積分学・同演習A(必修)、線形代数学・同演習A(必修)、経済学入門(必修)、経済学入門(推奨)、言語文化科目、文系ディシプリン科目、理系ディシプリン科目、健康・スポーツ科目</p>
	後期	<p>(A 知識・理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な経済諸問題を科学的に理解し説明するための数理・数量的手法の基礎を身につける。</li> </ul> <p>(B-2 汎用的能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大量の情報を管理・処理するためのコンピュータの基礎と応用の能力を身につける</li> </ul> <p>(C 態度・志向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文系と理系といった既成の枠にとらわれない幅広い分野に関する基礎知識を習得する。</li> </ul>	<p>【基幹教育科目】課題教学B(必修)、微分積分学・同演習B(必修)、線形代数学・同演習B(必修)、言語文化科目、文系ディシプリン科目、理系ディシプリン科目、健康・スポーツ科目</p>

2年	前期	<p>(A 知識・理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な経済諸問題を科学的に理解し説明するための数理・数量的手法の基礎を身につける。</li> <li>・経済・経営問題に関する数理・情報解析の手法を活用することができる。</li> <li>・数量的手法を用いて現実の経済の動きを照合できる。</li> <li>・情報技術の活用や工学的手法の導入といった幅広いアプローチを活用できる。</li> </ul> <p>(B-1 専門的能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語で書かれた経済書の内容を理解できる。</li> </ul>	<p>【基本科目】ミクロ経済学、マクロ経済学、情報処理Ⅰ、計量経済学Ⅰ・Ⅱ、情報処理Ⅱ、数理統計学（選択必修）、経済史Ⅰ・Ⅱ、経営学Ⅰ・Ⅱ、会計学Ⅰ・Ⅱ</p> <p>【選択必修科目】外国書講読</p> <p>【自由選択科目】経済工学基本演習</p> <p>【基幹教育科目】高年次基幹教育科目、言語文化科目、文系ディシプリン科目、理系ディシプリン科目、健康・スポーツ科目</p>
	後期	<p>(C 態度・志向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブ・ラーナーとしての自立的な学習態度、コミュニケーション能力を身につける。</li> <li>・文系と理系といった既成の枠にとらわれない幅広い分野に関する基礎知識を習得する。</li> </ul>	
3年	前期	<p>(B-1 専門的能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済学の先端的分野に関する基礎から応用までの議論を活用できる。</li> <li>・政策的課題の解決に向けた創造的な思考法を基礎にして、現実経済への働きかけとしての政策が持つ意味を多面的に検討することができる。</li> </ul>	<p>【選択必修科目】</p> <p>《モダン・エコノミクス系科目》 上級ミクロ経済学、上級マクロ経済学、上級計量経済学、応用ミクロ経済学、応用計量経済学、公共経済学、環境経済学、経済学史</p> <p>《ポリシー・アナリシス系科目》 経済政策、財政、金融、比較制度、企業経済学、社会保障、労働経済</p> <p>《数理情報系科目》 経済数学、数理計画、統計解析、数理ファイナンス、情報システム、データ工学</p> <p>外国書講読 経済工学演習(必修)</p>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報技術の活用や工学的な手法の導入といった幅広いアプローチを活用して、経済諸問題を把握・分析することができる。</li> <li>・外国語で書かれた経済書の内容を理解できる。</li> </ul> <p>(B-2 汎用的能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済・経営分析のための数理・数量的手法の基礎と統計・数学的基礎に関する知識、生きた経済に対する豊かな現実感覚と国際的視野を身につける。</li> </ul>	
4年	前期	<p>(C 態度・志向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界的な視野と自立的な学習及び実践力を有し、幅広い教養と高い専門性を備える。</li> </ul>	<p>【自由選択科目】 経済・経営学科授業科目</p>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブ・ラーナーとしての自立的な学習と実践の能力、コミュニケーション能力を身につける。</li> <li>・幅広い分野において、国際的に活躍するとともに、自身が属するコミュニティの発展に貢献できるポテンシャルを持つ</li> </ul>	